

因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏 連携事業進捗状況調書

連携中枢都市圏ビジョン懇談会

平成30年11月6日

ア 圏域全体の経済成長のけん引

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
1	ビジネスサポート体制検討事業	圏域全体の起業支援、産業育成のためのビジネスサポート体制の検討を進める。	【鳥取市】サポート体制の検討を進める。 【八頭町】起業機運醸成セミナーのうち、集アカデミーを実施予定 (10/4から計6回)	ビジネス課題事例研究数 (件)	0	4	0	2	○	
2	起業・創業支援事業	民間の創業支援事業者 (地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等) と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、チャレンジショップ事業等の創業支援を実施する。	【鳥取市】鳥取県東部圏域の自治体・民間事業者で行う創業支援等事業について、H30.8月末に創業支援等事業計画の変更認定を受け、連携体制を再確認した。 【岩美町】岩美町商工会と連携して創業者に対する事業計画策定支援、創業補助金の交付を行った。 【智頭町】新規創業・開業支援 H30.9.500,000円1件、申請書受理 1件 【八頭町】起業機運醸成セミナーにおいて、講演会を実施予定 (計3回) 起業家支援補助金を交付 【新温泉町】・創業セミナー 6/12~7/10 全5回実施 ・ワンストップ相談窓口 新温泉町商工会 (通年実施)、サンシーホール浜坂 (毎週木曜日) で実施	創業者数 (人)	113	113	11 (鳥取市分は未集計)	121	○	
3	圏域内の事業者に向けたセミナー開催事業	圏域全体の事業者を対象に、生産性向上、販路開拓、ワーク・ライフ・バランスなどさまざまなテーマで経営改善等につながるセミナーを開催する。	●働き方改革セミナー 平成30年7月24日 (火) 53人 ●鳥取市中小企業・小規模企業振興講演会 平成30年8月6日 (木) 22人 ●新入社員職場定着促進事業研修 平成30年8月24日 (金) 33人 ●中小企業大学サテライトゼミ 平成30年9月10日 (月) 11人	セミナー参加者数 (人)	75	110	119	152	○	
4	地域商社活用事業	営業力や受発注・決済機能・物流機能、コンサルティング機能を持ち、既存商品・産品に加え市場化されずに眠る有望な地域資源を圏域外へ販路開拓・拡大することを目的とした商社事業を展開する。	●圏域の農水産物や食品加工品を中心に圏域外への販路開拓と販売を行う商品流通事業を行っている。 ●地域事業者と共同して新商品の開発や既存商品のリニューアル、パッケージング開発等を行う商品開発事業を行っている。	新規取引業者数 (生産団体も含む)	10	13	31	59	○	
5	関西事務所運営事業	関西事務所に職員を配置し、鳥取県関西本部などとの連携を図りながら、関西圏や中四国、中京圏域などにおいて、鳥取・因幡圏域の広報宣伝活動や企業訪問等を実施する。	関西事務所において、企業誘致推進、観光情報発信における企業訪問を行う。	企業訪問件数 (件)	60	70	89	150		○
6	広域的道路網整備促進事業	関係市町と連携し、圏域内の山陰近畿自動車道の未整備区間の早期整備、鳥取自動車道及び山陰自動車道の4車線化等を促進するため、関係機関に対する要望活動、啓発活動及び道路整備の際の環境整備を積極的に実施する。	●平成30年度事業実績 5月30日 道路関係3期成会合同総会を開催 7月17日 鳥取河川国道事務所・倉吉河川国道事務所への要望活動 9月12日 中国地方整備局への要望活動 (広島) (7月豪雨の影響により要望書を送付) ●今後の予定 10月23日 国土交通省、財務省、地元選出国會議員への要望活動 (東京)	要望活動数 (回)	4	4	3	4		○
7	森林保全推進事業	作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等により、健全な森づくりを推進する。	【鳥取市】作業道の整備や間伐の促進、竹林の間伐等に要する経費を支援中 【岩美町】作業道の整備や間伐等に要する経費を支援中 【若桜町】作業道整備延長 L=941m、間伐面積 A=130.75ha 【智頭町】作業道開設1,254m、間伐面積27.41ha 【八頭町】作業道整備24,004m、間伐面積155.17ha 【新温泉町】切捨間伐 25ha、利用間伐 11ha	鳥取・因幡圏域の間伐面積 (ha)	1,416	1,489	174	1,049		○
8	林業従事者支援事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るための支援を行う。	【鳥取市】林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、雇用年金の事業主負担に対し、経費の一部を助成している。(県:1/4、市:1/4) 【岩美町】公益財団法人鳥取県担い手育成財団へ共済年金掛金、年末一時金支給の一部を助成予定。 【若桜町】林業労働者の確保及び就労条件の改善を図るため、社会保険掛金等に係る支援を助成 (263千円) 【智頭町】H28(基準)と比較して森整備担い手育成対策事業を活用する林業従事者が8名となった。支援を行っている対象者は林業への従事を希望して他業種からの転職、移住者が3割を占める。 【八頭町】○鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業費補助金 (雇用条件改善事業 (社会保険料掛金助成事業))により、町内在住の林業労働者 (雇用開始から5年以内)の負担する健康保険料及び厚生年金を補助する。現在事業実施中であり、来年3月に補助対象者10名に対し、1,916,450円を補助する見込み。 ○林業労働者福祉推進事業費補助金による市町村負担分を負担し、林業労働者の確保及び就労条件の改善に寄与する。現在事業実施中であり、3月に391,079円を補助する見込み。	林業労働者雇用条件改善事業実施者数 (各年毎健康保険・農林年金への補助者数) (人)	43	40	19	51		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標(単位)	基準値(H28)	目標値(H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
9	稚貝・稚魚放流事業	内水面や沿岸における稚貝や稚魚の放流や資源管理を図る。	<p>【鳥取市】・内水面漁業協同組合等が行う稚魚放流に要する経費を支援した。(放流量4.01t)</p> <p>・沿岸漁業が行う放流は実施中</p> <p>【岩美町】稚貝・稚魚の放流 アワビ 27,000個、サザエ 20,000個、キジハタ 6,448尾 ワカメ 800m(11月予定)</p> <p>【若桜町】ヤマメ260kg アユ900kg</p> <p>【八頭町】鳥取県魚の豊かな川づくり基金助成金を活用し、7月25日(水)に私都川(姫路、落岩)、大江川(大江)、細見川(妻鹿野)でヤマメ稚魚約3,000尾の放流を行った。</p> <p>【新温泉町】内水面事業＝鮎稚魚、ウナギ稚魚、サクラマス発眼卵、ヤマメ成魚放流 海水面＝クロアワビ、カサゴ、ヒラメ、マダイ、キジハタ放流</p>	放流数(トン)	7	7	5	7	○	
10	漁業雇用促進対策事業	移住希望者等へ情報発信を行うとともに、漁労技術の習得研修や漁業への就業支援を行い、就業者確保を図る。	<p>【鳥取市】鳥取県漁業協同組合等が海面漁業への就業を希望する者に対して行う漁労技術等の習得研修に要する経費を支援中。(雇用型1名、独立型1名)</p> <p>【岩美町】研修生(5名:沖合底びき網漁業 雇用型) 労技術の習得研修や漁業への就業支援を行っている。</p>	研修実施者数(人)	52	52	7	52	○	
11	特産品生産促進支援事業	白ネギの特産化を図るため、東部圏域で行う生産・販路拡大に対して支援する。	<p>【鳥取市】鳥取いなば農協が作成した「いば白ねぎ倍増プラン」に基づき、面積拡大に取り組む中。</p> <p>みんなでやらいや農業支援事業(がんばる農家プラン)により、苗代、技術対策費、販売対策費、機械導入等へ助成。</p> <p>【岩美町】白ねぎの栽培面積増加を目指し、苗助成や予冷库利用助成を行うとともに、育苗施設、予冷库、皮むき機等の機械を購入し生産、出荷体制の強化を図る。実施時期:7月～翌年3月</p> <p>【若桜町】鳥取いなば農業協同組合が事業実施主体とする「白ねぎ倍増プラン」に係る支援補助(8千円)</p> <p>【八頭町】がんばる地域プラン事業費補助金により、白ねぎの苗代助成や予冷库利用料の助成、栽培暦・チラシ作成に係る経費の助成、試食宣伝会に係る経費の助成、皮剥き機、コンプレッサーの導入に係る経費の助成を行い、生産・出荷体制の強化を図るとともに、農家の所得向上・経営安定、農地の有効活用を図る(平成31年3月31日事業完了予定)。</p>	白ネギの作付面積(ha)	60	60	49	54	○	
12	農産物販路拡大支援事業	農産物の新たな販路強化・拡大を行い、圏域農産物の販売促進を図る。	鳥取市では、毎月第2・4金曜日土曜日に大阪市中之島で農産物や加工品を対面販売する「グリーンマーケット」を開催し、麒麟のまち圏域の農産物の委託販売も実施。	関西圏での合同直販市の開催(回)	1	2	2	4	○	
13	地域おこし協力隊導入事業	三大都市圏等から地域おこし協力隊員を招致し、地域活性化に係る諸課題の解決と後継者確保対策を推進する。また、隊員のネットワーク促進など隊員の活動充実に向け、圏域情報の共有と連携を推進する。	<p>【鳥取市】山のエコツーリズム振興(1名)、原木しいたけの生産振興(1名)、中心市街地活性化担当(1名)を配置</p> <p>【智頭町】9名の地域おこし協力隊を配置している。自然栽培(1名)原木椎茸(1名)石谷家住宅(1名)観光協会(1名)林業(2名)獣害対策(1名)智頭農林高校魅力化コーディネーター(2名)</p> <p>【八頭町】道の駅はつとうにおける特産品販売、振興(1名)、八頭町観光協会における各種観光業務の実施(1名)</p> <p>【岩美町】岩美高校魅力化コーディネーター(1名)、道の駅魅力発信(1名)、地域資源を活用した生業づくり(網代:1名、田後:1名)、アルマーレ魅力発信(1名)を配置</p> <p>【若桜町】商業部門(2名)、氷ノ山振興部門(1名)、鳥獣対策部門(2名)、若桜鉄道振興部門(1名)</p> <p>【新温泉町】移住定住促進担当(1名)、道の駅事業推進担当(1名)を配置</p>	地域おこし協力隊配置数(人)	43	43	32	32	○	
14	農業担い手育成塾運営事業	鳥取・但馬圏内の新規就農者及び関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・みらい農業ねっとわーく」を創設し、以下の事業を実施する。 (1)情報共有(携帯メール配信等) (2)研修・情報交換会の開催(座学研修、圃場研修、事例発表等)	<p>【実施予定】</p> <p>○圏域農業者対象のスマート農業セミナーの開催。</p> <p>ICTを活用した最新の農業経営に係る情報を提供し、新規就農者へ新たな農業経営のあり方を示すことで、生産意欲の向上を図るもの。</p> <p>現在各町の農業担当部局を通じ、新規就農者や認定農業者、また農業法人等へPRを依頼している。</p>	登録会員数(人)	0	48	0	19	○	
15	農業IT化促進事業	鳥取・但馬圏内の自治体及び農商工関係団体等で構成する(仮称)「麒麟のまち・スマート農業推進会議」を創設し、以下の事業を実施する。 (1)情報収集・発信(メール配信等) (2)研修・情報交換会の開催(座学・圃場研修、事例研究等)	<p>【鳥取市】圏域農業者対象のスマート農業セミナー等を開催。</p> <p>・8/9 スマート農業を知るセミナー</p> <p>・9/10～11 GAP研修会</p> <p>【岩美町】10月26日に開催される「スマート農業フォーラム」への参加を、認定新規就農者を中心に呼びかける。</p>	研修会延べ参加者数(人)	0	100	52	148	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値（H28）	目標値（H30）	9月末現在値	H30年度末見込み値		
16	麒麟獅子舞を生かした圏域活性化事業	圏域に受け継がれる麒麟獅子舞の魅力を情報発信、普及啓発し、圏域の活性化につなげるとともに、保存会等とも連携を図り、麒麟獅子舞の次世代への保存・継承を図る。 ・麒麟のまち連携コンセプト等について域内住民への浸透を図る ・博物館や展示施設での麒麟獅子関係巡回展の実施 ・麒麟獅子舞を生かした日本遺産の認定を目指す	麒麟獅子舞巡回展の開催日・場所（予定） ①【岩美町】平成31年1月22日～31日/岩美町役場（町民ホール） ②【智頭町】平成31年2月2日～11日/智頭町総合センター（ロビー） ③【若桜町】平成31年2月13日～24日/若桜郷土文化の里 たくみの館 ④【鳥取市】平成31年2月26日～3月7日/鳥取市文化センター（予定） ⑤【八頭町】平成31年3月9日～18日/八頭町中央公民館 ⑥【新温泉町】平成31年3月20日～31日/浜坂先人記念館以命亭 内容 写真パネル、剪画、レプリカなど民芸品の展示、塗り絵体験 など	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
17	麒麟のまち関西情報発信拠点での情報発信等エリアプロモーション推進事業	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるエリアプロモーション事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。また、マスコミ・メディアの本社が集中する首都圏において、各種情報の発信を行い、圏域の認知度アップ、イメージアップを図る。	【鳥取市】佐治小学校修学旅行観光PR 9月14日（金） 移住定住相談会 11月、2月、3月 すごい鳥取市移住相談会 10月、1月 鳥取かにフェア 11月8日（木）～17日（土） 砂の美術館パネル展示 12月頃 しゃんしゃんフォトコンテスト展示 12月頃 鳥取自動車道パネル展示 3月頃 とっとり因幡の風景を楽しむフォトコンテスト 3月頃 【八頭町】八頭町情報発信（YAZUバーガー） 10月30日（火） 八頭町フェア 11月19日（月）～25日（日） 【新温泉町】新温泉町観光大使の集い 10月24日（水）	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
18	インターネットショップ推進事業	圏域内の物産のイメージアップやブランド化のため鳥取市が運営するインターネットショップ「とっとり市（いち）」への出店を麒麟のまち圏域に拡大し、圏域一体となった物産の振興を図る。	「とっとり市（いち）」関連規約を変更し、麒麟のまち圏域からの出店および生産された商品の取扱いを可能とした。 年度末での鳥取市域を除く同圏域から、10店舗の出店があった。	出店店舗数（店）	110	129	111	126		○
19	駅前太平線バード・ハット利用促進事業	麒麟のまち圏域内各市町の地域振興に関わるイベント（行政系）等をバード・ハットで開催する際は使用料を免除し、交流人口の増加を図る。	平成30年8月26日、バード・ハットを会場に山陰のこだわりが詰まったマーケットイベント、「山陰三ツ星マーケット」が開催され、その中で麒麟のまち圏域内各市町の観光・物産等のブースを展開、来場者へのPRを行った。本イベントは、バード・ハットの5周年記念事業と同時開催され、当日は延べ12,000人が会場へ訪れた。 ※5周年記念事業（主催：新鳥取駅前地区商店街振興組合）と一体的に開催したため、使用料（代行手数料）は発生していない。	利用回数（回）	0	2	1	2		○
20	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」支援事業	地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」が行う鳥取・因幡圏域の観光素材の開発・普及及び県内外への観光広報宣伝活動の実施を支援する。 ※鳥取県東部・兵庫県北但西部1市6町のDMO設立による拡充	【すべて進行中】 ●インナーブランディング事業 圏域内での認知度の向上や、統一感のあるエリアブランドの構築を目的として行う事業。 ・キャッチコピー、ロゴマーク、Webデザインの制作など ●効果的な情報発信事業 ・SNS等の活用による情報発信、オウンドメディア等Webコンテンツ開発、AR動画等の映像コンテンツ作成、Web上でのクレジット決済システムの構築など ●ANA連携羽田ー鳥取訪日外国人誘客事業 羽田ー鳥取空港の航空路を活用したインバウンド誘致として、欧米豪をターゲットとした観光商品の造成・販売 ●観光資源のブラッシュアップ 第一次産業の活用や農泊の推進を目的とした体験型観光商品の造成、販売、予約などの支援 ●圏域マーケティング調査事業 各種データ等の収集・分析、効果的な誘客戦略の策定	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
21	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会支援事業	各市町が連携し、国道29号周辺地域の活性化のための情報発信やイベントの開催、沿線整備を行う。 ※日本風景街道新因幡ライン事業の実施に伴う拡充	●平成30年6月14日（木）に総会を開催 【今後の予定】 ●タウン誌での情報発信事業 タウン誌（山陰きらり）に、各市町村の観光資源を掲載予定。11月初旬に取材予定。 ●「福福キャンペーン」の実施 わかさ氷ノ山スキー場と各町の道の駅等が連携したキャンペーンを実施。 実施時期：平成30年12月下旬～平成31年3月（スキーシーズンを予定） 内容：スキー場リフト券の提示で、協賛店による温泉入浴料、商品や食事代の割引、サービス品の提供等 ●ニク（29）ロード推進事業 国道29号線をジビエ等を活用したニク（29）ロードとして情報発信するイベントを実施。 期間：平成30年11月24日～平成30年11月25日（予定）	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値(H28)	目標値(H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
22	因幡・但馬・丹後観光協議会支援事業	鳥取因幡地域、兵庫県但馬地域、京都府丹後地域の観光宣伝活動を推進するとともに、観光客の受け入れ態勢の整備を行うための研究会、観光マップの作成などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年7月10日（火）に総会開催【今後の予定】 ●広域観光マップ作成事業 因幡・但馬・丹後エリアの広域観光情報に山陰海岸ジオパークの情報を盛り込んだガイドマップを平成31年1月頃作成予定。 ●広域観光情報発信事業 情報誌『旅楽』冬号へ因幡丹連携の取り組みを掲載予定。12月に発行予定。 ●広域観光周遊促進事業 山陰海岸ジオパーク推進協議会と連携し、ガイドのスキルアップやガイド同士の交流・連携を図るための支援を行う。 ※麒麟のまち観光局や山陰海岸ジオパーク推進協議会など、目的が同じ組織が複数あるため、7月に開催された総会において30年度末で解散することが決定された。 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
23	鳥取自動車道活性化協議会支援事業	鳥取自動車道活性化協議会が行う因幡連携事業やフォトコンテストなどのPR事業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取自動車道沿線エリアを対象としたフォトコンテストの開催支援 期間：平成30年8月8日～平成31年1月16日 ●大学生を対象としたバスツアーの催行支援 魅力ある資源の発掘、SNS等での情報発信など 日程：平成30年9月28日、29日（2日間） 参加者数：15名（鳥取大学、鳥取環境大学） 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
24	外国人観光客受入事業	各市町が連携し、外国人観光客の受け入れを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ●海外商談会への参加 ・中国地域観光推進協議会・中国運輸局主催「中国地方インバウンドフォーラム商談会」（7/31シンガポール・8/3香港・9/13大山）への参加 ●海外メディア広告 ・台湾・香港向けガイドブック「終極天書」への情報掲載 ●国際観光客サポートセンター運営 ・外国人観光客案内所として、英・中・韓スタッフ5名を配置 ●多言語音声翻訳システム普及 ・鳥取県ハイヤータクシー協会へ開発並びに普及活動に関する経費を支援 ●海外プロモーションの実施 ・台湾・香港メディアFAMツアーの実施 ・台湾版Facebookでの情報発信 ・鳥取市観光セミナーの実施（台湾） ●各種交通優遇施策の実施（各運行事業者へ補助金交付） ・大阪ー鳥取間的高速バス（片道1,000円）の運行（6月ー10月） ・外国人観光客周遊タクシー（2,000円・3時間/人）の運行 	国際観光客サポートセンターの利用者数（人）	10,000	10,500	6,000	11,000		○
25	因幡・北但西部周遊バス運行支援事業	因幡・北但西部圏域を周遊するバスツアーの企画及び運行の支援を行う。 ※既存コースの見直しと新規コースの開発による拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥取・因幡を周遊するバスツアー（Gバス） 5月12日～9月23日の期間中、土日のみ運行。 ・グリーンコース（智頭・鳥取）：14本運行（6本催行中止） 103名乗車 ・ジオコース（岩美・鳥取）：16本運行（3本催行中止） 133名乗車 【今後の予定】 ●因幡・北但西部周遊バス導入調査事業 県境を越えた二次交通の仕組みを構築するため、岩美町から新温泉町にかけての周遊バスの実証実験を実施する。 運行期間：平成30年12月～平成31年3月（予定） 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
26	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業	浦富海岸及び鳥取砂丘エリアを観光周遊するボンネットバスの運行の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●バス愛好家さんこだわりコース（定員20名） 岩美町の写真スポットを巡るコース。 海岸や展望台、瑞風の停車駅東浜駅などに立ち寄る。 2本運行、23名乗車 ●アニメの世界へようこそコース（定員20名） 人気アニメのロケ参考地を巡るコース。 8本運行、122名乗車 【今後の予定】 ●アニメの世界へようこそコース 4本運行、50名乗車予定 	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標 (単位)	基準値 (H28)	目標値 (H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
27	山陰海岸ジオパークを活用した広域観光推進事業	フォーラム、研修会等の開催、案内看板の設置、リーフレットの作成等を行い、山陰海岸ジオパークの普及・啓発を行う。また、ジオガイド研修会等を開催し、ジオガイドの養成を行う。	<p>アクティビティを通じてジオパークを体感するモニターツアーを9月1日～2日に実施。この結果をもとに、次年度以降の旅行商品化に向けて地域連携DMO「麒麟のまち観光局」と協議を行っている。</p> <p>●プログラム内容 1日目：鳥取駅→多鯨ヶ池（SUPヨガ、ティータイム）→レイガーデン（夕食）→鳥取駅 2日目：鳥取駅→砂丘（朝ヨガ、朝ごはん、撮影講座）→摩尼寺（お寺体験、昼食）→鳥取駅</p> <p>●今後の事業予定 ①鳥取砂丘ビジターセンターの開設（10/26） ②山陰海岸ジオパークのエリア拡大に向けた、本市南エリアの地質調査（年度末実施）</p>	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000		○
28	観光大学運営・活用事業	現在、鳥取市で実施している観光マイスター育成制度を圏域内へ拡充し、圏域内のホスピタリティー向上を目指す。	<p>●現在までの状況 ・エリア拡充について鳥取市観光大学（事務局：鳥取市観光コンベンション協会）において検討中</p> <p>●今後の予定 平成30年10月～ 受講生募集開始 平成30年11月 来年度開催内容に対する協議・検討 平成31年1月～2月中旬 観光大学開催 平成31年3月 マイスター認定賞授与式</p>	観光マイスター新規認定者数（人）	40	40	0	40	○	
29	砂のルネッサンス連携事業	国内砂像選手権等、砂像に関する事業を1市6町と共催し、連携事業実施、PR	<p>鳥取砂のルネッサンス2018 【期間】 平成30年9月15日（土）～9月17日（月） 【場所】 鳥取砂丘砂の美術館展望駐車場内特別エリア 【主催】 鳥取市 【共催】 鳥取砂のルネッサンス実行委員会 【来場者数】 約27,100人 【主な内容】 学生限定砂像グランプリin鳥取、中学生砂像選手権、砂・砂ワークショップほか</p>	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000	○	
30	若者の地元定着促進事業	圏域の高校生を対象にした圏域企業見学会を実施する	<p>●H30.9月末時点未実施 ①実施予定時期：H30.10月末～H31.3月中頃 ②企業見学会参加予定高校：岩美高校、智頭農林高校、鳥取工業高校、鳥取商業高校、鳥取湖陵高校、鳥取緑風高校、青谷高校、鳥取敬愛高校、鳥取城北高校（9校） ③企業見学会参加予定企業：未定</p>	企業見学会参加人数（人）	650	800	0	722	○	
31	国際経済交流推進事業	国際的な経済・観光交流促進を目的に設置している「鳥取市国際経済発展協議会」で実施する情報発信や貿易相談サポート等の業務について、支援対象範囲を麒麟のまち圏域に拡大する。	<p>●貿易相談・サポート、マッチング ●翻訳、通訳業務支援（日中友好協会、鳥取県、四川省美食視察団岩美西小学校給食視察支援、ユネスコ世界ジオパーク再認定審査新温泉町支援）</p>	インバウンド需要取り込みに向けた観光パンフレットなどの翻訳支援件数（件）	141	146	91	154	○	

イ 高次の都市機能の集積・強化

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
32	鳥取市立病院、岩美町国民健康保険岩美病院、国民健康保険智頭病院の地域医療研修協力事業	鳥取市立病院の初期及び後期研修医師が岩美町国民健康保険岩美病院及び国民健康保険智頭病院において、地域医療研修を行う。	平成30年9月に初期研修医（2年目）が、岩美町国民健康保険岩美病院と国民健康保険智頭病院でそれぞれ1名ずつ医療研修（1ヶ月）を行った。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
33	鳥取市立病院と国民健康保険智頭病院の医師の相互派遣事業	地域医療を確保するため、智頭病院の医師が充足していない診療科へ医師派遣を行う。	鳥取市立病院の泌尿器科・産婦人科・外科の医師がそれぞれ週に1回智頭病院で診療している。その他にマンモグラフィの二次読影業務を行っている。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
34	鳥取市立病院、公立浜坂病院の相互連携事業	鳥取市立病院及び公立浜坂病院の情報共有や相補的な相互連携を行う。	具体的な事業は行っていないが、今年度は全国で自然災害等が多く発生しており、今後も連携体制を継続していく。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
35	鳥取市夜間・休日急患診療所運営事業	夜間・休日の1次救急医療体制（内科・小児科）を確保するため、夜間・休日急患診療所の運営を行う。	【委託先】鳥取県東部医師会 【実施場所】東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1） 【診療時間】 [夜間]通年（365日）：午後7時から午後10時まで。 [休日]日曜日・祝日、8月13日から8月15日、12月30日から翌年1月3日：午前9時から午後5時まで。 【患者実績】平成28年度 17,000人 平成29年度 17,735人 平成30年9月末 7,834人	急患診療所の開所	開所	実施	実施	実施		○
36	病院群輪番制運営支援事業	休日の2次から3次救急医療体制を確保するため、対象病院の輪番日運営に対する支援を行う。	【実施病院】市立病院、中央病院、生協病院、日赤病院の輪番制 【診療時間】日曜・祝日等の休日（第2土曜日含む）並びに年末年始：午前8時30分～翌日の午前8時30分 【実施日数】平成28年度 82日 平成29年度 83日 平成30年9月末 40日	病院群輪番制の実施	実施	継続	継続	継続		○
37	ドクターカー導入検討事業	鳥取市立病院にドクターカーを配備し、消防署の要請を受けて医師が救急現場に出動したり、搬送途中の救急車と合流することで、迅速に救急患者に対応	鳥取市では、広域的な災害等が発生した場合の救急医療体制を確保するため、平成30年7月に岡山大学医学部に災害救急に貢献する人材育成を目的とした寄付講座を開設し（期間は5年間）、鳥取市立病院を研究施設とした。また市立病院では平成30年4月に「救急科」を新設し、救急受入体制の強化を推進しているところであり、今後救急体制の拡充を図る中で、ドクターカーの導入について検討する。	研究する	—	研究	未実施	未実施	○	
38	鳥取砂丘コナン空港利用促進事業	鳥取砂丘コナン空港の利便性向上や利用促進を行う。	【鳥取市】 本市のほか、県、鳥取商工会議所が事務局を担当している「鳥取空港の利用を促進する懇話会」が中心となって、広告掲載、旅行会社の商品造成・販売支援、各種イベントへの協力等を行いながら、利用促進に取り組んでいる。 【新温泉町】 ①鳥取空港の利用を促進する懇話会第1回幹事会（5/14） ②鳥取空港の利用を促進する懇話会総会（5/22） ③鳥取空港レンタカー割引キャンペーンの対象となる宿泊施設に、4月から新温泉町内の宿泊施設を追加 ④鳥取空港エアサポート支援事業、レンタカー割引キャンペーン等を新温泉町の広報紙やHPに掲載	東京便の搭乗者数（人／年）※有償利用	353,541	380,000	206,659	394,680		○
39	公共交通機関のパスカード、ICカードの発行・運用検討事業	JR・智頭急行・若桜鉄道・日交バス・日ノ丸バス・全但バスなどの公共交通全てで使用可能なICカードの発行・運用に係る各種検討を行う。	未実施。 今後は、県とも連携をとりながら実施を検討。	研究・検討会議の実施（回）	0	2	0	0	○	
40	山陰新幹線の整備促進のための要望活動等事業	関係市町と連携し、山陰新幹線の早期実現をめざし、関係機関への要望活動、啓発活動を積極的に実施。	H30.6.5に「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議（会長：鳥取市長）」の総会を開催。翌日、国に対し要望決議書を提出。また、役員市（鳥取市・松江市・小浜市・京丹後市）で、本年度の事業計画を精査中。	国等への要望活動回数及びシンポジウム等開催回数（回）	2	2	1	2	○	
41	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動との連携事業	圏域の活性化に向けて活動する「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」へ参画し、大学、経済団体等と連携し地域課題の解決に取り組む。	【鳥取市】 「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」の活動拠点であるまちなかキャンパスの運営支援を実施し、まちなかキャンパスで展開される大学の地域貢献活動（「まちなか英語村」「環大スタディ」など）をサポートした。 また、「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」が実施した「連携中枢都市圏ワーク・ショップ」in集lab（平成30年3月16日）へ参加し、大学と地元企業・自治体との連携について関係者と意見交換を行った。 【岩美町】 公立鳥取環境大学の整備した「むらなかキャンパス」での事業の周知する。	公立鳥取環境大学が実施する教育・研究活動と関係市町との連携事業数（事業）	2事業（1市1町）	全市町で1事業以上実施	2	2	○	

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
42	看護・医療系人材の育成・確保事業	看護職員実習指導者の養成に努めるとともに、看護職員実習指導者の養成のための支援を行う。	【事業詳細】県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関（県立の病院等は除く）に受講者の受講期間（約2か月）の基本給の一部を補助。 【補助対象実績】平成28年度 13人 平成29年度 12人 平成30年9月末 8人	看護職員実習指導者養成講習会の受講者数（人／年）	13	12	8	12		○
43	医療への関わり方の圏域住民への周知事業	医療の関わり方などについて、講演会等開催し住民に周知する。	さざんか会館で「市民医療講演会」の開催を年間11回計画しており、そのうち5回実施済みである。その他にも集会所などで「健康づくり講演会」を6回開催している。	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
44	病児・病後児保育事業	就労等により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に利用するための各市町の病児・病後児保育施設を、圏域内での相互利用が可能となるよう広域化を図る。	広域利用の実施状況 平成30年4月から9月までの実績 利用者数 6人 利用回数 11回	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
45	障がい者歯科診療所運営支援事業	一般歯科医院での診療が難しい心身障がい児（者）の歯科保健指導・歯科診療を行う鳥取県口腔総合保健センターの安定的な運営を支援することで、障がい児（者）の口腔健康の維持・向上を図る。	・障がい者歯科診療事業 毎週木曜日の午後に診療を行う。（医師2名体制） 4月：43名 5月：43名 6月：45名 7月：35名 8月：41名 9月：49名 延べ利用者数：256名 ・口腔疾患予防処置及び歯科相談診療 毎週火曜日の午後にフッ化物塗布、初期う蝕（虫歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行う。 4月：6人 5月：5人 6月：4人 7月：6人 8月：7人 9月：6人 延べ利用者数：34名	本事業を継続して実施	実施	継続	継続	継続		○
46	圏域内での在宅医療・介護連携の推進事業	圏域内における医療や介護の連携を強化し、住民の意向が強い在宅療養を推進するための地域資源の連携・活用に取り組む。	●鳥取県東部1市4町は協働し、鳥取県東部医師会へ事業委託し事業を実施。（全8項目を実施中） ●新温泉町を含めた1市5町で、ACP啓発を進めるツールとして終活支援ノートを共同作成。 ●新温泉町との連携のため、新温泉町の関係職員対象の研修会に講師として参加。	在宅医療・介護連携推進事業の実施（実施事業数）	全8事業	全8事業	全8事業	全8事業		○
47	社会福祉協議会各種相談事業	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に对象を広げて相談を受け付ける。	社会福祉協議会が実施している各種相談事業（法律、司法書士、人権、行政、身障、教育、青少年等）について、圏域の住民に对象を広げて相談を受け付けている。	社会福祉協議会各種相談件数（件／年）	118	110	159	220		○
48	鳥取県東部聴覚障がい者センター活用事業	鳥取県東部聴覚障がい者センターを活用し、圏域内で均衡した聴覚障がい者の社会参加促進を支援する。	【聴覚障がい者意思疎通支援事業】 手話通訳者派遣 1,590件 要約筆記者派遣 27件 【手話奉仕員養成研修事業】 43名申込（講習会は10月～全21回） 【聴覚障がい者生活支援事業】 月2回 計12回実施 232名参加	手話奉仕員養成研修受講者数（人／年）	34	34	34	34		○
49	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施事業	障がい児等への支援を行う保育者等に対し、療育を含めた各地域における障がい児等支援に関する理解を深める。	●児童発達支援センター若草学園における参加型公開療育1回目を9月19日に実施。 ●参加型公開療育を10月17日と10月29日に実施予定。 ●感覚統合の研修会を11月6日に実施予定。 ●平成30年度地域療育セミナーを12月22日に実施予定。	保育者等を対象とした障がい児支援の在り方等の研修実施、積極的な研修参加案内（回／年）	2	3	1	5		○
50	点訳朗読奉仕員養成研修事業	視覚に障がいのある方の福祉に理解と熱意を有する方に、点訳・朗読の指導を行い、奉仕員を養成する。	●点訳奉仕員養成講習（8月～10月に実施） 計8回 10名申込 ●朗読奉仕員養成講習（8月～10月に実施） 計8回 18名申込	点訳朗読奉仕員養成講座受講修了者数（人）	5	5	28	28		○
51	地域活動支援センター事業	障がいのある人が、地域活動支援センターで創作活動や生産活動、社会との交流活動等を行うことにより社会参加を促進し、その能力や適正に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援を行うもの。 サマーハウスが、創作活動や社会との交流の場等として設置する地域活動支援センターの運営を支援する。	生活支援事業、相談事業、地域交流活動、その他地域生活支援事業を行っている。 4月：618名 5月：580名 6月：666名 7月：666名 8月：652名 9月：478名 4～9月延べ利用者数 3,660名	年間延べ参加者数（人）	6,500	6,500	3,660	6,500		○
52	博物館施設等活用連携事業	小中学校児童生徒の圏域内学習に寄与するため、圏域内博物館施設を学校教育や子どもたちの体験学習へ活用する	30年度の実施件数（見込）は5件程度で、事業は定着してきたが、連携中枢都市圏の鳥取市以外の自治体からの要望はなかった（予算は館園施設の指定管理費に含まれているため、単独の事業費はない）。	博物館施設等活用連携事業実施回数（回／年）	0	3	2	7		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値 (H28)	目標値 (H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
53	圏域の文化財情報連携事業	圏域各市町が連携して、圏域内全体の文化財情報を閲覧できるようにする。	鳥取市において文化財情報を連携中枢都市圏域のホームページに集約することを目標としているが、鳥取市自体のホームページの改修が進んでいないため、実施できていない。	圏域文化財情報公式ウェブサイトページのアクセス数（件）	3,000	3,000	340	700		○
54	森のようちえん運営・活用事業	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組む。	智頭の森というフィールドを学び舎として積極的に活用し、雨や雪の日でも毎日森に出かける野外保育により、幼児期の心と体の育成に取り組んでいる。	森のようちえんへの入園を目的とした移住者の数（人）	47（）	120	98	100		○
55	麒麟のまち交流スポーツ大会事業	各市町又は圏域内市町間で行っているスポーツ大会を、圏域全体に参加対象を広げるにより、スポーツを通じた地域間の交流を図る。 鳥取市：マスタースタジアム（バードスタジアム有効活用） 新温泉町：新温泉町スポーツレクリエーション記録会	平成30年12月16日（日）、とりぎんバードスタジアムを発着として、マラソンハーフコースを5区間に分け、マスタースタジアム大会を開催予定。 【鳥取市】市報へ掲載 【若桜町】チラシを掲示 【八頭町】チラシを陸上関係者へ配布。	参加者数（人）	159	180	0	180	○	
56	国際理解推進交流事業	鳥取市に配置の国際交流員（英語圏・ドイツ担当1人、韓国担当1人、中国担当1人）が市民向けに行っている国際理解講座（料理教室、文化の紹介、語学等の講座）を5町で希望する団体等へも広げ、圏域全体における国際理解の推進を図る。	◆事業実績 鳥取市において、小学校、公民館などを中心に講座を開催中。 講座回数：12回/参加者数：367人 ◆連携事業としての成果 現段階では無。今後、講座内容等を紹介した資料を作成し、各町へ情報提供する予定。	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数（回）	87	95	12	63	○	
57	公共図書館の相互利用事業	圏域内に居住している人はだれでも、圏域内の各公共図書館で資料が借りられる相互利用を行う。圏域全体で読書活動の推進、利便性の強化を図る。（ただし、利用者が各館に出向き貸出・返却を行うこととする。また、マイナンバーカードを図書カードとして活用することについては、引き続き検討する。） 30年度は相互利用に係るチラシを作成し、周知を図る。	①連携中枢都市圏域に居住する方も貸出が行えるよう、各自治体の必要に応じ、条例・規則等の改正を行った。 ②平成30年4月1日から、相互利用を開始した。 ③チラシ等を作成し、周知を図った。 ④各館の利用案内を配置し、周知を図った。	在住外登録者の利用冊数（総人口100人当たり）（冊）	8.7	9.3	5.2	10.1	○	
58	野生鳥獣被害防止事業	鳥獣被害防止対策連絡調整会議を開催するとともに、侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を行う。	【鳥取市】 侵入防止柵、一斉駆除、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援。 【岩美町】 侵入防止柵、捕獲奨励金、捕獲器具購入等に対する支援を実施中 【若桜町】 ・侵入防止策補助 1,848千円 ・一斉駆除回数 2回 ・捕獲奨励金 5,003千円 【智頭町】 捕獲奨励金 ニホンジカ257頭、イノシシ25頭 一斉捕獲 カラス39羽 【八頭町】 鳥獣捕獲数（8月末）※9月末は未確定の為 ○イノシシ 326頭 ○シカ 619頭 ○ヌートリア 5頭 侵入防止柵設置（9月末）○電気柵 1,215m○ワイヤーメッシュ柵 628m 【新温泉町】 有害鳥獣捕獲班員への活動手当の支給（4月～6月分）2,395千円	年間被害面積（a）	3,361	3,333	441	2,463		○
59	射撃場整備・管理運営事業	農作物に被害を与える野生鳥獣の捕獲のための射撃練習や射撃講習ができる射撃場を整備し、銃猟者を育成・確保する。	東部圏域に銃猟者の技能講習が可能な射撃場（捕獲技術高度化施設）鳥取クレー射撃場の運営	鳥取クレー射撃場利用者数（人/年）	420	450	225	286		○
60	いなばのジビエ推進協議会支援事業	猪や鹿等の有害鳥獣をジビエとして有効活用するため、先進事例研究やイメージアップ及び消費拡大に向けた取組を行う。	視察研修、解体処理技術向上研修の開催、情報発信、料理講習会の開催、新ジビエ料理と加工品の開発支援、各種イベントの共催（主催イベントは本年度なし）など。	いなばのジビエ推進協議会主催イベント入場者数（人/年）	20,000	20,000	139	200		○
61	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会支援事業	東部圏域が一丸となって県内外への情報発信（ホームページの開設など）を行うとともに、先進地視察、研修会、モニター体験ツアーなどを実践し、スケールメリットを生かした取組を行う。	H30.7.19 会員施設訪問研修を実施 H30.11.17～18 危機管理実践研修「ウィルダネスファーストエイドWFAベーシックコース2日間」を実施予定	とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会加盟団体数（団体）	27	29	27	31		○
62	グリーンツーリズム推進事業	都市住民との交流、グリーンツーリズムに取り組んでいる地域・団体が構成するグリーンツーリズム連絡会等の活動やそれぞれの地域活動を支援する。	【鳥取市】 鳥取市内の小学校を中心に各家庭で児童を受入れ、田舎暮らし等体験を行った。（佐治町、河原町）	グリーンツーリズム関連団体が主催する体験事業の参加者総数（宿泊を伴うもののみ）（人）	1,485	1,780	841	1,700		○

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値（H28）	目標値（H30）	9月末現在値	H30年度末見込み値		
63	森林セラピー事業	智頭町の90%以上を占める森林資源を活用し、住民の健康増進はもとより、都市住民との交流・誘客・企業提携などによる地域の活力創造と、疎開の町としての癒しの里づくりを進める。	【鳥取市】 とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会HPで事業を紹介し、情報共有・発信した。 【智頭町】 日常とは離れ、知らない地域の人々との交流や仕事体験、森林セラピー、民泊等、「智頭町で暮らす」ことを体験し、様々な角度から働き方・生活時間の使い方などを見直す体験型研修を推進した。	森林セラピー導入企業数（社）	0	0	5	7	○	
64	とっとりふるさと元気塾開設事業	とっとりふるさと元気塾を開設し、地域や集落の活性化を目指して実践的な活動を主体的に取り組んで行くことのできる実践者・リーダーの養成を推進する。	【鳥取市】 H30.9月末 9講座（テーマ別：7講座、地域別：2講座）を実施 H31.3月末 計15講座を実施予定、スーパーリーダー10名程度を認定予定 【新温泉町】 ①鳥取ふるさと元気塾の開校式を新温泉町の広報紙に掲載（6/14広報紙） ②「麒麟獅子切り絵ワークショップ」を新温泉町内で開催（8/6開催、参加者19名、うち小学生7名） ③「とっとり元気マルシェ」に新温泉町から出店（9/16開催、2団体） 【智頭町】 各研修について、関係団体等に情報共有し、積極的な参加を促している。	とっとりふるさと元気塾リーダー認定者数（人）	37	30	0	30	○	
65	麒麟のまち創生戦略会議運営事業	麒麟獅子文化をはじめとする、さまざまな文化・歴史を共有する、因幡と但馬地域のそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図る。 （構成市町：鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町）	平成30年4月から麒麟のまちPR動画をYouTubeで公開するとともに、平成30年5月31日に麒麟のまち創生戦略会議・サミットを開催し、「広域連携で期待すること」をテーマに意見交換を行った。併せて、麒麟のまち圏域の防災力の向上を図ることを目的に、「災害時相互応援協定」を締結した。	サミット開催数（回）	1	1	1	1	○	
66	地域づくり活動発表会開催事業	各地域の地域づくり活動を行う団体・者の取組状況の発表や意見交換の場を設定し、活動の成功例・失敗例、課題問題点などの情報共有を進めることで、地域が連携した地域活動の推進を図るとともに、併せて地域相互間の往来を促す取組を行うことで、地域周遊のラインの形成を図る。 （例示 地域産品を活用した特産品開発について、情報交換の場で違う視点での意見を交え、意見交換してブラッシュアップを図り商品化につなげる等。）	H31.3月 ふるさと元気塾成果発表会「とっとり元気フェスタ」を実施予定（塾生が加工品や特産品等の販売、取り組み発表等を予定）	参加団体数（回）	0	0	0	1	○	
67	圏域防災力の向上事業	圏域内における防災情報連携により「自助・共助・公助」それぞれの機能を促進させ、圏域防災力の向上に取り組む。 【平成30年度の主な取組】 ●災害時相互応援協定の締結 ●自主防災組織等を対象とした圏域内合同防災研修会の開催（共助連携） ●防災備品・備蓄品の情報連携（公助連携） ※31年度以降の連携内容については、ミサイル等武力攻撃事態に関するオリジナル広報等の製作や防災マップ等の情報連携発信等を予定している。	●「麒麟のまち創生戦略会議」の会議体（1市6町）で、災害時相互応援協定を締結した。（H30.5.31） ●兵庫県、香美町、新温泉町（他3市）が主体となって取り組む「平成30年度兵庫県但馬地域合同防災訓練」において、災害時相互応援協定に基づく応援要請を想定し、鳥取市が給水車1台を訓練会場に派遣して給水活動訓練に参加した。（H30.9.2）	防災情報連携事業数（事業）	0	2	2	3	○	
68	ごみ減量化推進事業	ごみに対する啓発事業を各市町で連携して行っていく。また、生ごみ堆肥化容器の購入促進等の具体的な減量化の取り組みを行い、家庭から排出されるごみの減量化を図る。	【鳥取市】 ●実績 生ごみ堆肥化容器等購入補助 18件 ごみ分別チラシのデータ作成 ●実施予定 各種チラシの作成、事業所へチラシ配布、優良事業所認定及び表彰、段ボールコンポスト講習会 【岩美町】生ごみ堆肥化容器の購入等の支援を行う。 【若桜町】電動生ごみ処理機購入補助：1件（20,000円）※9月末現在 コンポスト購入補助：0件 ※9月末現在 【智頭町】生ごみの堆肥化、効果的な削減策を検討する。 【八頭町】コンポスト購入補助：3件9,000円（9月末現在） 生ごみ分別収集：未集計 【新温泉町】新温泉町生ごみ自家処理機購入費補助金（H30.9末） 電動式：2台、補助金額：39（千円）	可燃ごみの処理量（t）	61,612	60,906	31,104	60,831	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値（H28）	目標値（H30）	9月末現在値	H30年度末見込み値		
69	ゆめぐりエクスプレスバス運行事業	鳥取市と兵庫県新温泉町の間を結ぶ定期バスの運行を支援し、生活交通の確保及び観光客の利便性向上を図る。	【鳥取市】 H30.10.1より、「鳥取駅⇄湯村温泉 2往復/日」を、「鳥取駅⇄湯村温泉 1往復/日」と「岩美駅⇄湯村温泉 1往復/日（鳥取駅⇄岩美駅間は快速便運行）」に再編。 【新温泉町】 ①ゆめぐりエクスプレスバス運行協議会担当者を開催（5/2） ②ゆめぐりエクスプレスバス運行協議会総会を開催（5/30） ③日本交通が10月から運行する「岩井線快速便」とゆめぐりエクスプレスを接続させるため、協議を実施 ④10月からのダイヤ改正等に伴い、車両マグネットやチラシを作成し、ダイヤ改正の周知と利用啓発を実施	平均乗車人員（人/便）	2.47	2.05	2.06	2.5～3.0	○	
70	J R山陰本線利用促進事業	山陰本線の利用促進や利便性の向上を図るための取組や要望活動を行うとともに、沿線地域の活性化を図る。	【鳥取市】 「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（事務局：県交通政策課）」として、ジオライナーの運行支援を行うほか、山陰地域の新たな旅客需要の創造、ジオパークの横連携強化を目的に、10月に「但馬・因幡・伯耆号」を運行することを計画。 ①宿泊コース：米子⇄城崎温泉（10/7～8） ②日帰りコース：米子⇄城崎温泉（10/13） 豊岡⇄米子・境港（10/27） 今後はJR西日本への要望活動を行う予定。 【新温泉町】 1. 連携事業 ①兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会総会（5/28） ②駅前レンタサイクル利用料補助事業のチラシ配布 ③山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会総会（5/28） 2. 新温泉町の取組 ①鉄道グッズ館「鉄子の部屋」の管理運営 ②職員e-出張事業 など	山陰本線（久谷～青谷間）の乗客数（千人/年）	3,856	3,860	—	—	○	
71	智頭線・因美線利用促進事業	智頭線や因美線の利便性向上や利用促進等の事業を行い、沿線地域の活性化を図る。	「智頭線利用促進協議会（事務局：県交通政策課）」として、利用促進に関するチラシを作成し配布。 今後は、「因美線・津山線近代化促進期成同盟会（事務局：県交通政策課）」としてJR西日本に対する要望活動を行うほか、利用促進活動を展開する予定。	因美線（鳥取～那岐）、智頭線（智頭～山形）の乗客数（千人/年）	3,345	3,350	—	—	○	
72	広域バス路線等運行支援事業	圏域内における広域的なバス路線、また主要なバス路線や鉄道等と連携して運行する地域交通バスに対する支援を行う。 合わせて、鉄道と路線バス、各市町運営バス等との接続の利便性を向上させるため、所要の調整を行う。	【鳥取市】 圏域内で運行されている路線バスの運行事業者に対し、運行経費の一部を補助金として交付。 【岩美町】 本町と鳥取市を結ぶ路線バスの維持のため、バス事業者に対して支援を行う。事業実施に必要な費用を負担する。 【八頭町】 本町と鳥取市を結ぶ路線バスの維持のため、バス事業者に対して支援を行う。事業実施に必要な費用を負担する。 【智頭町】 本町と鳥取市を結ぶ路線バスの維持のため、バス事業者に対して支援を行う。事業実施に必要な費用を負担する。 【若桜町】 路線バスの運行事業者に対し、路線維持費を補助金として交付。	路線バス利用者数（人/年）	2,474,000	減少抑制率5%以内	—	—	○	
73	若桜鉄道利用促進事業	若桜鉄道の利便性向上や利用促進のためさまざまな取組を行う。 ①若桜鉄道利用促進 若桜鉄道利用促進実行委員会が行うシルバー回数券への助成、ミニ時刻表の作成等の若桜鉄道の利用促進事業や観光ツアーの誘致等の観光振興事業に対して支援を行う。 ②若桜鉄道観光列車運行事業 観光列車「昭和」の整備と、周辺市町と連携したツアー商品の造成やグッズ開発、観光施設等のPRを行う。	【鳥取市】 「若桜鉄道利用促進実行委員会（事務局：八頭町）」が中心となって、イベント助成や観光列車「昭和」を活用した商品開発、通学利用者に対する定期券購入費に対する助成等を実施。今後も様々な事業等を企画・実施していく予定。 【若桜町】 ・シルバー回数券への助成 ・観光列車を活用したツアー造成及びPR活動 ・高校生の通学定期への補助 【八頭町】 ・ミニ時刻表を作成し、八頭町、若桜町で全戸配布を行った。また、若桜鉄道沿線各駅で開催されるイベント等への運営助成を行い、沿線の活性化と鉄道への乗車機運の醸成を行った。（H30.9末実施件数7件） ・通学定期の半額を助成し、輸送人員の増加を図った。（八頭町） ・観光列車「昭和」を軸にして、観光ツアーの誘致並びにツアー商品造成、グッズ開発、観光施設と連携したイベントの開催等を行った。	若桜鉄道の乗客数（人/年）	325,000	410,000	175,028	350,056	○	
74	麒麟のまちを巡る交通網の整備検討事業	ゆめぐりエクスプレスバスなど圏域を移動できる交通機関の整備充実と高規格道路開通を見据えた高速バスの運行を検討する。 ※各事業者との調整、ニーズ把握などを踏まえ事業化を研究。	未実施	要望活動数（回）	4	4	0	0	○	
75	JR鳥取駅周辺の広域交通結節機能の向上促進事業	JR鳥取駅周辺を麒麟のまち圏域の広域交通結節点と位置づけ、施設整備及び機能強化・充実を図る。	【鳥取市】 関係課によるプロジェクトチームを立ち上げ、鳥取駅の交通結節点としての機能強化に向けた方策を検討中。	機能強化・充実件数（回）	0	0	0	0	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値(H28)	目標値(H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
76	ICTインフラを活用したコンテンツ交流促進事業	各自治体がコミュニティ番組やデータ放送ならびWebコンテンツ等として保有する、観光・イベントを中心とした地域に密着した情報を圏域内の既存のICTインフラを活用した交流を促進することにより地域活性化を図る。	【鳥取市】 各市町のWebサイトにおいて連携市町のコンテンツを関連リンクをして掲載中（H29年度から継続） 【新温泉町】 町ケーブルテレビの文字放送で、鳥取県内のイベント情報を発信（毎月2回更新）	各市町HPの相互リンク	実施	継続	継続	継続		○
77	ICT関係機器・データ等の共同調達事業	関係市町村と連携し、共同でICT関連機器・データ・アプリケーション等の共同調達を行う。※共同調達の対象は鳥取県ICT協議会等での調達対象外となったものなどを対象とする。	鳥取県市町村ICT共同化推進協議会において、当協議会での取り扱い案件の整理がなされた。今後は、当協議会で除外されたシステム等について連携市町と協議し、共同調達の可能性を模索していく。	共同調達案件数（回）	0	1	0	0		○
78	武蔵野市家族自然体験交流事業	鳥取県主催の武蔵野市の家族受け入れ（自然体験交流）事業に参画し、地域の特徴ある資源を活用した都市との交流事業を実施する。	H30.8.23～8.27に実施し、157名を受け入れ 【鳥取市（河原町・佐治町）】 田舎暮らし体験、魚のつかみ取り、五右衛門風呂、野菜収穫体験等 【岩美町】 海水浴の体験等 【八頭町】 流しそうめん、竹細工作り、新鮮野菜の収穫体験等 【若桜町】若桜鉄道SL体験、鹿革小物製作体験、そば打ち、ウインナー作り、川遊び等	受入人数（人）	175	175	157	157		○
79	若者定住促進事業	婚活サポートセンターを活用し、圏域内外の独身男女の出会いの機会を提供する。また、圏域で実施する婚活イベントや婚活サポートの情報共有と事業の連携を行うとともに、若者が集う場の創出を図る。	現在、鳥取市で開設中の「すごい鳥取市！」婚活サポートセンターの会員登録対象範囲を平成31年4月までに圏域内へ拡大する方向で協議中。	圏域目標人口（人）	247,429	245,603	241,581	240,066		○
80	お試し住宅利用者へのパスポート発行事業	圏域のお試し住宅利用者に対し、圏域の施設等で割引サービスなどを受けられるパスポートを発行する。	鳥取県が実施している「とっとり移住応援メンバーズカード」を活用し、お試し住宅利用者へのカード加入案内を行い、体験中に圏域での割引サービス等の提供を行う。連携中枢都市、関係町とも協賛店の拡大を図る。	圏域外からのお試し住宅利用件数（件）	135	141	46	80	○	
81	圏域全体の空家登録バンクの整備・運用事業	圏域全体の「空家登録バンク」情報を共有するとともに、おためし住宅や空家の紹介など、移住希望者へ一体的に情報提供を行うことで圏域全体として移住促進を図る。	各市町の空き家登録一覧を情報共有し、必要に応じて移住相談者に他の自治体の物件情報の提供を行う。（毎月更新）	圏域外からの移住者の内、登録物件へ入居した件数（件）	26	29	16	25	○	
82	麒麟のまち移住相談会開催事業	都市部で開催される移住相談会への共同参加や、関西情報発信拠点施設「麒麟のまち」などを活用した相談会を共同開催する。	●下記の相談会に合同で参加し、圏域への移住を呼びかけた。 ・おいでや！いなか暮らしフェア（大阪、7/28） ・ふるさと回帰フェア2018（東京、9/9） ●相談会で圏域をアピールするため、統一したブース装飾品を作成し、上記の相談会で使用した。	各市町への移住者数（人）	368	569	320	656	○	
83	移住体験ツアー開催事業	圏域への移住定住の促進を目的に、圏域を巡る移住体験ツアーを開催する。	「すごい！鳥取市 ワーホリ！」で、圏域を紹介するポスターを作成し、8/27から9/2の間、吉祥寺駅に掲載し、圏域のPRを行った。また、10月から全5回で体験ツアー（圏域版）を実施。ポスターを見た方からのSNS等での情報発信や、ツアー参加者との関係人口構築を図り、将来的な移住に繋げる取組を実施。	各市町への移住者数（人）	368	569	320	656	○	
84	圏域移住促進事業	圏域への移住希望者に対してセミナーを開催するなど、移住人口増加を図るための取組を実施する。	「すごい！鳥取市 ワーホリ！」で、圏域を紹介するポスターを作成し、8/27から9/2の間、吉祥寺駅に掲載し、圏域のPRを行った。また、10月から全5回で体験ツアー（圏域版）を実施。ポスターを見た方からのSNS等での情報発信や、ツアー参加者との関係人口構築を図り、将来的な移住に繋げる取組を実施。	各市町への移住者数（人）	368	569	320	656	○	

No.	事業名	事業概要	実績	K P I					新規	定住
				指標（単位）	基準値(H28)	目標値(H30)	9月末現在値	H30年度末見込み値		
85	広報誌リレー記事掲載事業	連携事業の周知を図る目的で、リレー記事方式で連携他市町の情報を掲載	広報誌リレー記事掲載に向けて広報事務担当者会議（第1回）を平成30年8月21日に開催し、平成30年12月号より隔月にて連携他市町の情報を「麒麟のまちインフォメーション」として、各市町とも掲載していくことを確認。 掲載内容（予定） 12月号：「麒麟のまち連携中枢都市ビジョン」について 2月号：連携他市町の31年度イベント情報について	掲載回数（回）	2	2	0	2	○	
86	圏域全体のエリアプロモーション事業	圏域全体のCM作成等の、エリアプロモーション事業を行い、圏域ブランド周知・定着を図ることで、観光客誘致や移住定住の促進つなげる。	●6月「すごい！鳥取市ワーホリ！麒麟のまち拡大版」のプラン検討ワークショップを開催 ●7月 PR用ポスター撮影実施 ●8/27～9/23京王電鉄井の頭線吉祥寺駅構内に全18種のポスターおよび電子掲示板に掲示（ただしポスターは9/2までの掲示） ●8/27より、全5回の「すごい！鳥取市ワーホリ！麒麟のまち拡大版」お試し体験ツアーの募集・申込開始。 ●10/6～8第1回目の受入を実施。 ●今後は10/26～28、11/9～11、11/23～25、11/30～12/2に実施予定。 【智頭町】 エリアセール事業に対し、PR素材等を随時提供	圏域への観光入込客数（人）	4,764,000	5,325,000	2,662,500	5,325,000	○	
87	合同職員研修事業	圏域内職員の資質・能力向上を目的に、合同で職員研修を実施する。また、各市町で実施する独自研修、講演会等の情報共有を図り、相互に職員の受け入れを可能とする体制をつくる。	合同職員研修実施状況【実施済】 ①CS（住民満足度）向上研修 8/28参加者114人（市59人、町55人） 【実施予定】 ②OJT研修 10/11 130人見込 ③コンプライアンス研修 10/30 100人見込 ④新規採用職員研修 11/15 100人見込 ⑤接遇研修 11/28 40人見込	圏域内全職員数に占める合同職員研修受講者割合（%）	23	24	5	23	○	
88	職員交流検討事業	圏域内職員の行政マネジメント能力向上、専門分野の知識習得、情報共有のため、各市町の先進的な取組を学ぶ機会（勉強会等）を設ける等の人事交流の実施を検討する。	実績なし	検討会議の開催（回）	0	1	0	0	○	
89	麒麟のまち圏域地域おこし広域隊設置事業	・麒麟のまち圏域全体を活動範囲とした「地域おこし協力隊」の設置。 ・各市町の地域おこし協力隊員とのネットワークを構築し、各市町の抱える諸問題に対応しつつ、圏域全体の活性化の取組などの強化を図る。（H30年度：導入検討、H31～1名導入）	【鳥取市】 広域的な協力隊員の配置により、各連携町の重要施策・事業に好影響を及ぼすことが見込まれる具体的業務について調査・検討を行う予定	隊員による圏域の各種情報等の情報共有連絡会の開催回数（回）	0	0	0	0	○	
90	公共施設点検研修の共同実施事業	圏域市町の施設管理担当職員を対象に、公共施設点検研修を実施する。また市職員を各町に派遣する。	各自治体における建物点検、住民の安全確保に役立てていただくことを目的として、鳥取市の技術職員による『事務職員でも実施可能な建物点検についての実地研修』を実施 実施日：平成30年5月17日、18日 場 所：鳥取市人権交流プラザ 参加者：42人（うち岩美町2人、八頭町2人、若桜町4人）	公共施設点検研修の実施回数（回）	2	2	2	2	○	